

# わが家、わが町の 地域包括ケアは？ ～利用者・患者の 側から見ると

**講師**  
**村上紀美子**  
(医療ジャーナリスト)

参加費  
無料



## ○講師からのメッセージ

地域包括ケアとよく言われますが、いったいどんなことでしょうか？わが家で、わが町で、そして私自身にとっては？これまでの国内外の取材や、90代の3人の遠距離サポーターと看取り体験から、皆さんと一緒に考えたいと思います。私を感じる“長崎の良さ”もお話しますね。

○プログラム 開会の挨拶 座長 安中 正和(長崎在宅Dr.ネット 事務局長) ご講演(1時間15分) 長崎の地域包括ケア活動の紹介・質疑応答(30分) 閉会の挨拶

- 日時 令和4年11月14日(月) 19:00～21:00  
(開場 18:00)
- 会場 長崎ブリックホール3階 会議室  
(長崎市茂里町2-38 TEL 095-842-2002)
- 対象 医療・介護・福祉関係者 ●定員60名
- 参加申し込み締め切り 令和4年11月10日(木)

配信も行います！  
お申し込みは裏面をご覧ください

共催 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 一般社団法人全国在宅療養支援医協会  
認定NPO法人 長崎在宅Dr.ネット

お問い合わせ先 長崎在宅Dr.ネット事務局

TEL 095-811-5120 FAX 095-811-5121 E-mail drnetjimukyoku@yahoo.co.jp

## 講師紹介

○村上紀美子:医療ジャーナリスト

○日本看護協会(調査研究部のち、広報部長)ののちフリーランスとなり、在宅ケア・看取りケア・医療安全を主なテーマに、医療者と患者の両方の視点で取材を続ける。国内各地とヨーロッパ・アメリカ各地・ニュージーランド・中国など10か国。途中3年間ドイツに住む。90歳代の高齢者3人を、在宅ケアとグループホームの遠距離介護で見送る。

現在は、「元気なときから知っておきたい在宅ケア」動画シリーズを作成。「元気なときから備えておきたい10項目」を試作中。全国各地の「暮らしの保健室」、「マギーズ東京」などのNPO法人の運営にも携わる。

○東京教育大学(社会学専攻)卒業。国際医療福祉大学医療福祉ジャーナリズム修士課程修了。

○主な著書

『納得の老後 日欧在宅ケア探訪』岩波新書(長崎の医師の活動を181ページに紹介)

『暮らしの保健室ガイドブック』日本看護協会出版会

『患者の目線 医療関係者が患者・家族になってわかったこと』(医学書院)

希望する場所でいつまでも、最期まで心豊かで穏やかに 北海道～九州、中山間でも都会も



## 参加申込書

お申し込みはFAXにて FAX番号 095-811-5121

所属	連絡先TEL
参加者 1	参加者 2
参加者 3	参加者 4

配信でのご参加は、下記URLかQRコードより事前登録をお願いします。  
(定員500名)

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_GnhWIhUISDOzg\\_tcFaV4IA](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_GnhWIhUISDOzg_tcFaV4IA)

